

2021年度大学間連携災害ボランティアシンポジウム

青山学院大学における学生ボランティア 活動支援の取り組み



青山学院大学

ボランティアセンター 佐藤亜希



- ・はじめに
- ・コロナ禍でのボランティア活動
- ・学生たちの状況
- ・さらなる学習効果の向上に向けて

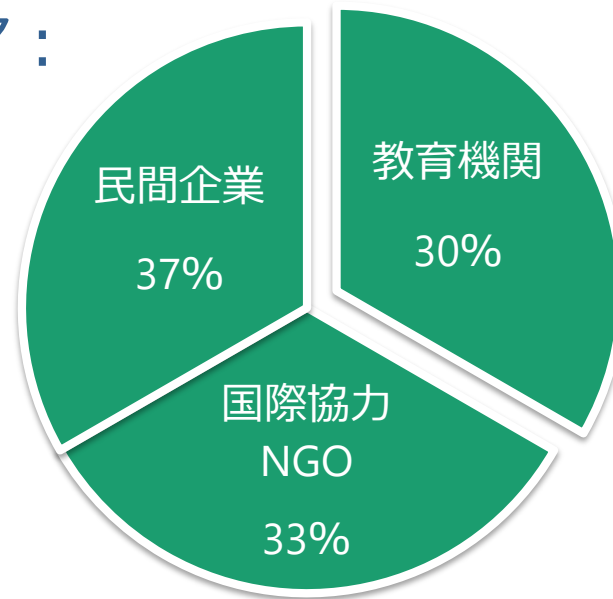
自己紹介



生い立ち：神奈川生まれ、茨城育ち

ボランティアコーディネーター歴：5年4か月

これまでのキャリア：



興味あること：Ground Cycle（野菜と堆肥づくりの循環）

2022年度の目標：キャンパス内に畑を作る！

大学について



建学の精神

永久に基督教の信仰にもとづき、行われる

スクールモットー

「地の塩、世の光」

AOYAMA VISION 2014-2024

すべての人と社会のために
未来を拓くサーバント・リーダーを育成する総合学園

設立年：1949年

キャンパス数：青山キャンパス：東京都渋谷区渋谷4-4-25

相模原キャンパス：神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1

学部／研究科：11学部／研究科：12研究科

学生数：18,462名／1,239名

＜青山キャンパス＞

文学部

教育人間科学部

経済学部

法学部

経営学部

国際政治経済学部

総合文化政策学部

＜相模原キャンパス＞

理工学部

社会情報学部

地球社会共生学部

コミュニティ人間科学部

ボランティアセンターについて



設立：2016年10月（相模原キャンパスは2018年4月開設）

経緯：東日本大震災後に発足した大学直属学生ボランティア団体「ボランティア・ステーション」を改組する形で大学附置施設となる。

センターミッション

- ①学生・教職員の自発的な社会貢献活動への参画を促進すること
- ②大学の持つ専門性や強みを活用してボランティア活動の社会的効果を向上すること
- ③社会貢献活動への参加にともなう教育的効果を向上させること

主な役割

- ①ボランティア活動の実施促進、機会提供、学生の能力強化
- ②サービス・ラーニング科目等への協力
- ③学外組織との連携・協力

人員体制

センター長 1名 副センター長 1名
ボランティアコーディネーター 4名（青山3、相模原1） 学生生活課担当職員 4名

ボランティアセンターについて



東日本大震災からの出発

- 2011年3月11日
東日本大震災発生
大学学長を委員長とする緊急支援対策委員会を発足
- 2011年5月
ボランティア企画・活動団体として
青山学院大学ボランティア・ステーションが設立
- 2011年7月～2017年3月（2017年以降はRoote）
＜実施プログラム＞
 - ・塩竈プログラム
 - ・食品ロスプログラム
 - ・陸前高田プログラム
 - ・難民プログラム
 - ・熊本プログラム
 - ・地域プログラム
 - ・インドネシアプログラム
 - ・フィリピンプログラム
 - ・ネパールプログラム



コロナ禍において。。。

- ・メンバー間のコミュニケーション不足
- ・大半のプログラムが活動休止
- ・Rooteではなくプログラム単位への帰属意識
- ・メンバーのモチベーション低下

コロナ禍でのボランティア活動

基本姿勢

「青山学院大学 新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動及び対応に関する指針」に付随する「課外活動中止の段階的な緩和の指針」に基づき判断（レベル0～4）。但しオンライン活動については規制なし

センターとして

- ・ 公式ウェブサイト「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うセンター利用・ボランティア活動について」を掲載
- ・ 2020年後期、年次計画の修正・確認。「実施」「実施方法の変更（オンライン化）」「延期」「中止」に分類
- ・ オンラインコンテンツの拡充

オンライン開催

セミナー、トークイベント、講座など

Welcome ポラカフェ **Volunteer Cafe** オンライン

ランチしながら
ちょっと気になるあのハナシ
聞いてみよう

パートナーシップで
サステナブルファッションを広げる

Date. 6月16日(水)
Time. 12:35~13:15
Tool. Zoom

Guest Speaker
地球環境
パートナーシッププラザ
(GEOC)

世界で2番目にCO2排出量が多い産業は、
ファッション産業といわれます。
環境省では「ファッションと環境」タスクフォースが
昨年発足され、サステナブルなファッション産業の
実現に向け、協議が重ねられています。
環境課題をパートナーシップで
解決する取組をしているGEOCスタッフの方に
サステナブルファッションとパートナーシップの
重要性について聴いていただきます。

参加を希望する方は
申込フォームから
お申し込みください。
アクセスに必要な情報を
後日お知らせします。

QRコード

青山学院大学ボランティアセンター主催

PR Information Webmaster & さんが固定表示されています

“SDGs”を知っていますか？

SLIDE 15

Sustainable Development Goals
= 持続可能な開発目標

2030年までに達成すべき国際社会共通の17の目標

先進国も途上国も一丸となって達成を目指す

市民社会や企業、子どもも含めた全ての人が役割を
持ち責任を果たすことが求められている

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界をよりよくするための17の目標

キーワード

取得

ite; 2020

Gumi
Gumi Institute

Tami Sugihara

渋谷版こども食堂
こどもテーブルを知ろう！

渋谷という地域に暮らす子どもたちを
地域はどう支えるのか？

こども食堂＝「貧困」ではない、渋谷区ならではの地域課題や取り組み、
こどもテーブル団体による実際の活動の様子などをお話いただきます。
ボランティアに参加した学生の体験談も聞くことができます！

あつまれ～！
こども食堂の活動に興味がある人！
こどもに関わる仕事かしたい人！
いまだできるボランティアを知りたい人！

《日時》
2021年4月28日(水)
12:30～13:30

《実施形式》
オンライン (Zoom利用)

渋谷区こどもテーブル

恵比寿ママ食堂

認知症サポーター
養成講座 オンライン

認知症サポーターとは？

認知症を正しく理解し、
認知症の人や家族を適切に支える役割です。
現在の日本は超高齢社会と呼ばれ、
高齢者の4人に1人が認知症または予備軍と推定されています。
これからの社会において、どんな分野においても認知症に対する知識が不可欠と
なることが想定されます。
本講座を受講し認知症サポーターとなって、
若学生としてできることについて考える機会にしませんか？
今回はオンラインで開催します！

申込はコチラ

5.31 (月)
【18:30～20:00 開催】

【講師】 木村 誠 氏 (認知症ケア実践者ネットワークLink東京)
【共催】 全国キャラバンメイト連絡協議会
【定員】 30名
【参加方法】 申込後、Zoomリンクをメールでお知らせ
参加費 無料！

問い合わせ先：青山学院大学ボランティアセンター
担当：島崎 E-mail: agu-volunteer@soyomagakuin.jp

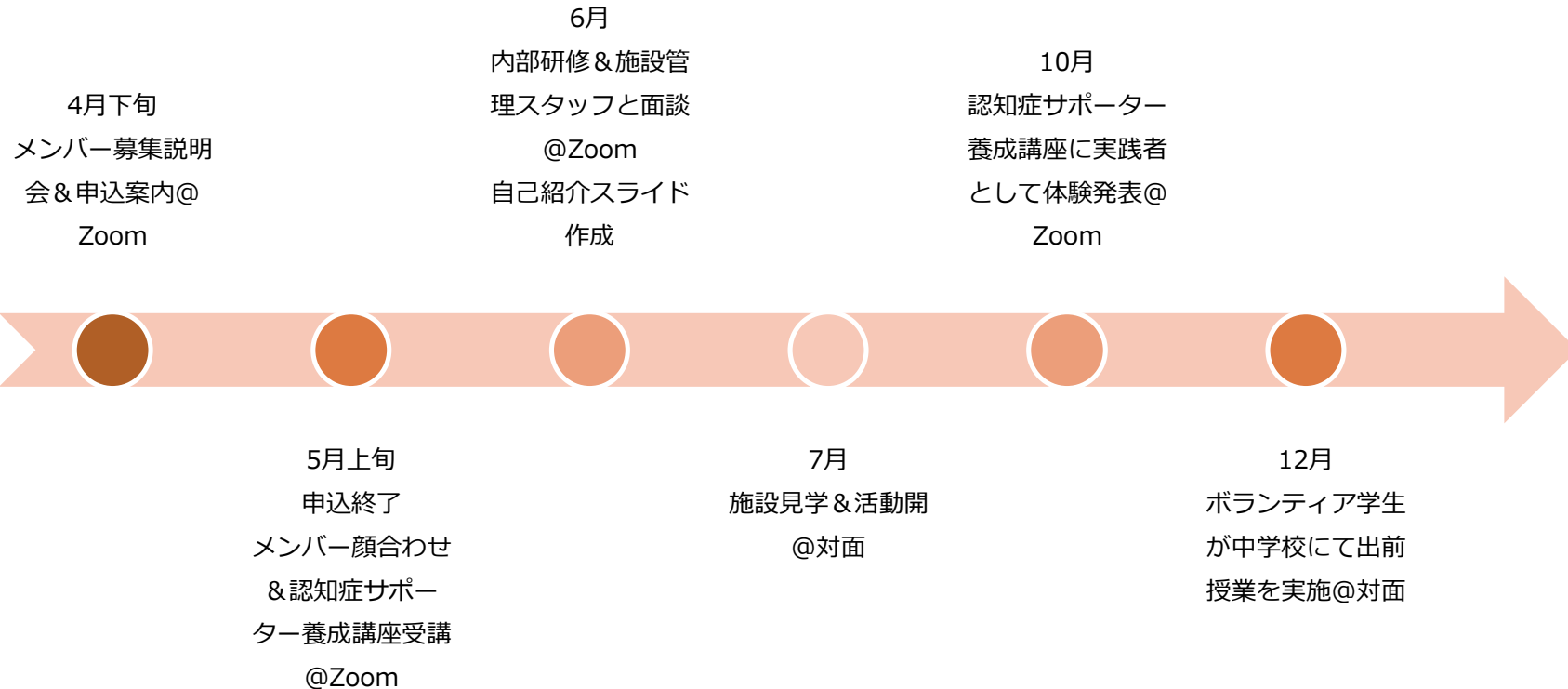
屋外、少人数での開催



学生交流 #1Dayボランティア

通年プロジェクトは状況に応じて対応

相武台団地活性化プロジェクト おとなりボランティア



プロジェクト・サポート制度

2020年度は中止、2021年度は年1回の募集

2021年度 ボランティア・プロジェクト・サポート制度



ステップアップコース

これまでの活動を発展させたい方向け
ボランティアの幅を広げたい気持ちをサポートします

1件あたりの補助額上限30万円

スタートアップコース

これからボランティアを始めたい方向け
ボラセン伴走型で、始めの一步をサポートします

1件あたりの補助額上限15万円

申請期間：
2021.6.7(月)10:00
～6.11(金)18:00
対象実施期間：
2021年7月～
2022年2月下旬
申請方法：
ボランティアセンター
に申請書類を提出
※ボラセンHP掲載。
募集要項には必ず目を通
してください。

まずは説明会へご参加ください！ @ボランティアセンター

5月19日(水) 12:40～13:10 (お昼休み)

5月24日(月) 12:40～13:10 (お昼休み)

※青山・相模原キャンパスどちらからでも参加いただけます。

青山学院大学ボランティアセンター

詳細はコチラ
から⇒



<スタートアップコース採択プロジェクト>

プロジェクトタイトル	内容
ジェンダー平等 ～パネルディスカッション	青学生のジェンダー平等意識向上と女性のエンパ ワメントを行うために、ゲストを招いてオンラインパネ ルディスカッションを開催
子供の居場所づくりプロジェクト (夏休みの宿題・自由研究サポート)	相模原市内で子どもが楽しみながら学習しできるよ うなノンフォーマル教育の居場所づくり
Tetote～みんなで「生理」と向き合おう～	「突然の生理に対応できない」という学生の負担を 軽減し、生理や生理用品に対する学生の関心を高 めることを目的に学内(男女とも)のトイレにサニタ リー用品の設置や啓発ポスターを掲示
Free&Smile 生理期間をもっと自由にもっと笑顔で ～	生理の貧困に直面している学生や生理で悩みを抱 えている学生が衛生的に生理生活を送れるように女 子トイレに生理用品を設置

<ステップアップコース採択プロジェクト>

プロジェクトタイトル	内容
こどもテーブルしばて	「学生×渋谷区×こどもテーブル」の新たなコミュニティ 形成を目的として、学生団体「しばっこ」が独自のこ どもテーブルを企画・開催する。

動画やウェブコンテンツの充実

ネット経由の情報発信に注力

ムービー作成

初頭オリエンテーション動画
センター＆活動紹介動画（業者制作）



HP全面リニューアル

静的・動的コンテンツのすみ分け



【ボラカフェSP】アフガニスタン・ピースア もしもプロジェクト 2.0メンバー募集

リモート対応に向けた環境整備

ウェブ会議ツール

- Microsoft Teams
- WebEx Meeting
- ZoomProアカウント(学生貸出もあり)



- GakuvoよりRemoアカウントの貸与

ガジェット類

- スピーカーフォン
- ヘッドセットなどなど



新たな取り組み

都市防災、地域創生、ソーシャルビジネス等 課題解決型のソーシャルプロジェクトへ

もしもプロジェクト



**MOSHIMO
PROJECT
AOGAKU**

「もしも」は
「いつか」やってくる。
をキーワードに、渋谷を舞台に、
みんなで「もしも」を考え、
「備え」を実行していくための
防災プロジェクト

藤野プロジェクト



相模原市藤野にて、里山体験ツアーの開催
やテレワークセンター「森ラボ」でのプロジェクトを
実施予定

Outsider Art プロジェクト



アールブリュットやアウトサイダーアートとして
注目されている、障がいを持つアーティ
ストたちの作品の企画展を開催したり、
グッズ販売を実施

学生たちの状況（団体）

- ・ 2020年度はどの学生団体も新規メンバーの獲得に苦勞
- ・ 2021年度はセンター主催で合同新歓（対面＆オンライン）を実施

13団体が大集合

2021年度
新入生歓迎
ボラ系団体
合同説明会

新2年生も
もちろん
大歓迎!

対面式
入場券が配布されます
※感染症対策のため、人数を制限することがあります

オンライン
ZOOMというツールを利用予定です
※スマホやタブレットでも参加可能です
※PCでの参加を推奨します

青山キャンパス@17510
04.14. Wed.
15:30 ~ 18:30

相模原キャンパス@F405
04.15. Thu.
16:00 ~ 18:00

青山・相模原キャンパス合同
04.10. Sat.
14:00 ~ 17:00

青山学院大学ボランティアセンター主催



学生たちの状況（団体）

全体的な傾向として、

- ・ 地域密着型（キャンパス近郊）
- ・ 課題啓発型（アドボカシー活動）

の活動をしている団体は感染症対策を行いながら活動を継続

一方、遠隔地での活動（地域活性化）などは一部オンラインで交流を続けるものの、活動が停滞化する団体が大半（モチベーション維持が困難、メンバーの入れ替わりによる経験値の喪失など）

ただし、社会情勢に変化による新たな活動も生まれた

（医療従事者支援のための募金活動、生理の貧困、ジェンダー平等など）

学生たちの状況（全般）

デメリット

- ・活動できる場の減少（ニーズとシーズのアンバランス）
- ・オンライン対応の得意不得意が明確に
- ・学生のリアルな声が聞こえづらい（マスクやオンラインだと表情が読み取りにくい）
- ・学生間、活動先とのコミュニケーションが希薄（オンラインだと用件のみで終わってしまうが、それ以外の雑談が本当は大事）

メリット

- ・キャンパスを問わず参加が可能
- ・時間の有効活用（すべきことの優先順位、隙間時間の活用）
- ・新たな課題発見の機会となる（長引く自粛生活により考える時間が増加）
- ・ボランティアに興味のなかった学生の参加（大学主催、屋外のプログラムだと親を説得させやすい）
- ・先行きの見えない状況下で想定範囲が広がった（プランA,B or C…）

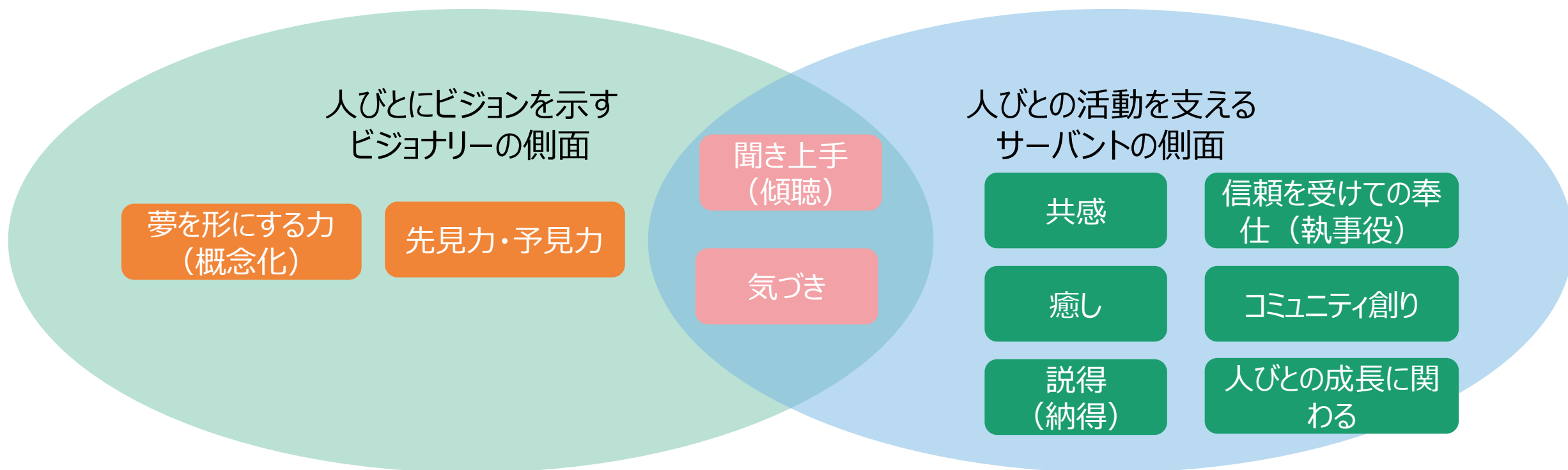
さらなる学習効果の向上に向けて

- ・ 知識・技能習得型(インプット)、体験型（五感を使う）、企画実行型（創造力）などを拡充させるために、それぞれの目的に適したツールの活用
- ・ 活動期間全般を通じた対話とリフレクションの充実（心地よい空間づくりも含めて）



さらなる学習効果の向上に向けて

- ・ 正課（サービス・ラーニング等）との接続による実践的な学習効果の向上

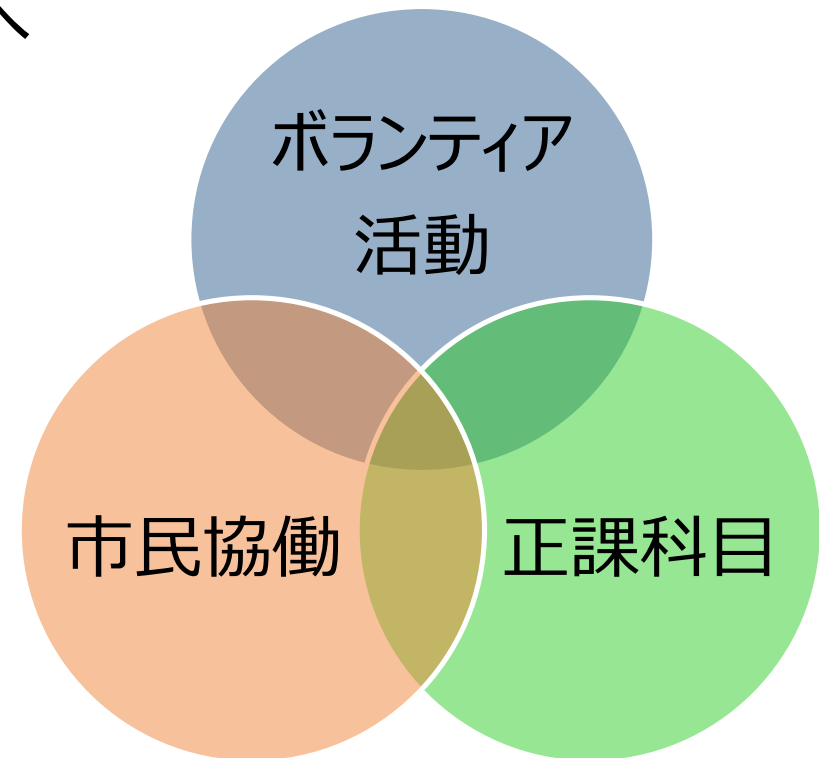


サーバント・リーダーシップの定義と10の特徴

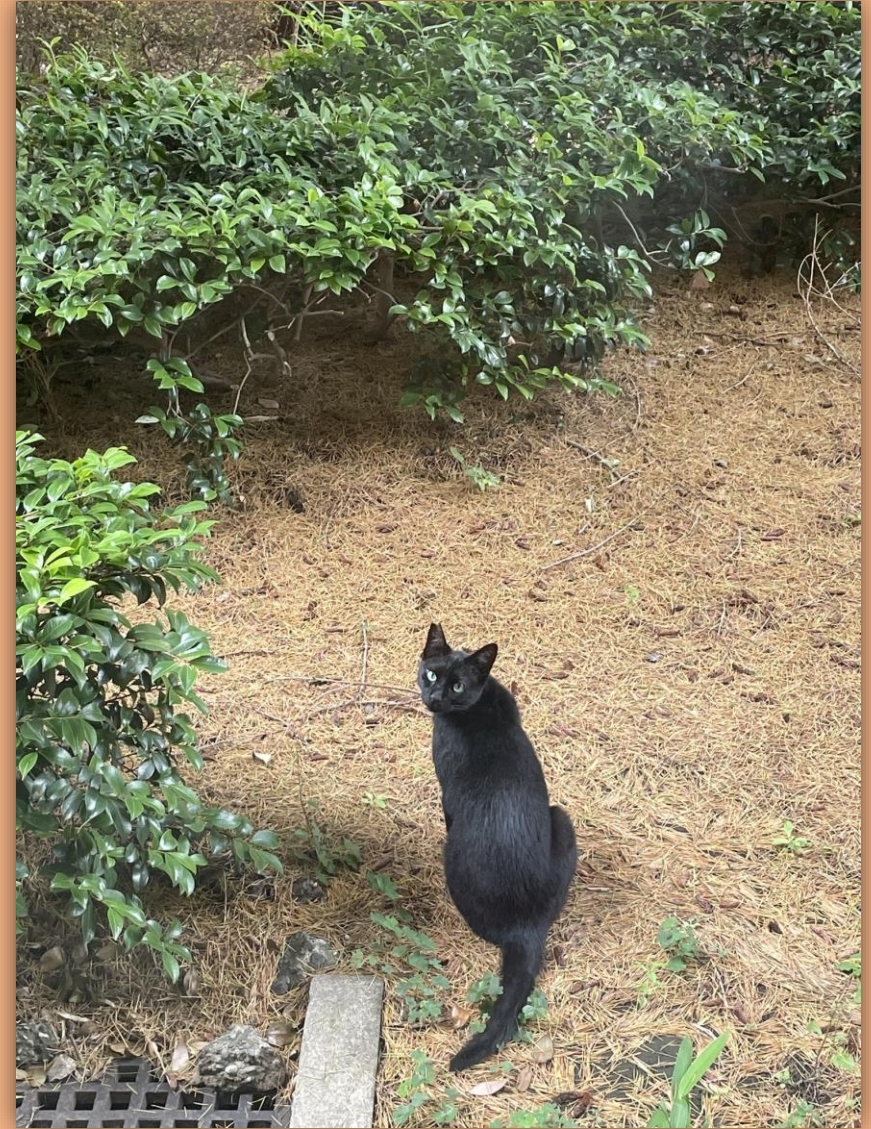
真田重人 『奉仕するリーダーが成果を上げる！サーバント・リーダーシップ実践講座』
中央経済社、2020年。P67より引用し一部改変

さらなる学習効果の向上に向けて

- ・ 課題への共感から他己への共感へ
- ・ 学生の成長ステージに即した対話の在り方、気づきへの意識変容、そして社会を変革する担い手へ



ご清聴ありがとうございました



ボラセン前でたたずむ青山猫